

2009年から「明治鍼灸医学」を引き継いだ「明治国際医療大学誌」は、本年で5年目を迎えることとなりました。

「明治鍼灸医学」の頃から著者の所属を見ても、大学鍼灸学部、大学院鍼灸学研究科からの投稿が中心の時から、保健医療学部からの投稿も少しずつ加わっていき、「明治国際医療大学誌」になってからは看護学部からの投稿も増え、今号は3/4が看護学部からの投稿となり、大学全体からの研究者の方々にご活用していただける雑誌となりつつあると感じております。今号の内容を見ますと、原書が1編、報告が1編、その他が2編と、論文の種類も多岐に亘り、その内容も実験的な内容から教育に関するものまで幅広い内容となっており、この点からも幅広い方々にご活用いただいていることが分かります。商業誌や学会誌などの専門誌に比べ、本雑誌のような紀要は幅広い内容を読者にお届けできるという利点があると思います。また、本雑誌はオンラインジャーナルとなってからは投稿から発行までの時間が紙媒体の時より短くなっています。それゆえ、紀要なりのメリットを今一度お考えいただき、より多くの方々にご投稿いただきたいと思います。編集サイドといたしましても紙面の充実を今後とも図ってまいりたいと存じます。

最後になりますが、ご投稿いただいた著者の皆様、お忙しい中査読いただいた先生方、編集いただいた編集委員会委員の方々に深謝申し上げます。

明治国際医療大学誌  
副委員長 林 知也